第 1 版

2020 年 7 月 15 日

2021年春派遣
APU－慶熙大学（韓国）
学部ダブルディグリープログラム募集要項

申請期間	2020 年 7 月 15 日(水) - 7 月 29 日(水) 16:30
募集ガイダンス Zoom ID:963 8933 8460	2020 年 7 月 15 日(水) 時間:15:30- 16:00 (英語) 16:00-16:30 (日本語)
書類審査結果発表	2020 年 8 月 5 日(水) ※キャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせにて連絡します
個人面接実施予定	2020 年 8 月 26 日(水)、27 日(木)、28 日(金)のいずれかを予定
内定結果発表	2020 年 9 月 16 日(水) ※キャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせにて連絡します
最終選考結果発表	2020 年 9 月 30 日(水) ※キャンパスターミナルのあなた宛の重要なお知らせにて連絡します
派遣人数	最大 3 名
内定者ガイダンス	渡航までに最低 3 回実施予定。(参加必須) 1 回目:2020 年 9 月 18 日(金) ※場所・時間 : 後日連絡 2 回目:2020 年 10 月 7 日(水) ※場所・時間 : 後日連絡 3 回目:2021 年 1 月 13 日(水) ※場所・時間 : 後日連絡
出発	2021 年 2 月初旬

*上記のスケジュールは、変更される可能性があります。

*面接日は大学が指定します。面接期間中は授業以外の予定を空けておくようにして下さい。

*必要に応じて面接期間以外に個別面談を行うことがあります。その場合、日時は別途お知らせします。

目次

1. プログラム概要 2
(1) 概要: 2
(2) KHUでの所属学部: 2
(3) 派遣期間: 2
(4) 採用人数: 2
(5) 学籍上の取り扱い: 2
(6) 取得可能な学位: 2
(7) 卒業時期に関する注意点 2
2. 申請および選考について 3
(1) 申請条件 3
(2) 申請方法 4
(3) 選考について 5
(4) 最終選考結果発表 5
3. 内定後の手続きについて 6
4. 留学前のAPUでの履修と自主学習について 6
(1) 2020年度秋セメスターのAPUでの履修について 6
(2) 自主学習について 7
5. 単位認定および留学中・帰国後の履修について 7
(1) 単位認定について 7
(2) 留学中と帰国後の履修について 7
(3) APS学修分野について 7
(4) 言語教育科目の履修免除について(英語科目/日本語科目/AP言語科目) 7
6. 学位取得のための要件 8
(1) 単位修得モデル 8
(2) KHUプログラム修了のための要件 8
(3) KHU 科目リスト 8
7. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて 9
8. 留学にかかる費用について 9
9. 合格後のプログラム参加の取り消しについて 9
10. 合格後のプログラムの中止・中断について 10
11. APUへの授業料支払いについて 10
12. 免責事項・注意事項 10
(1) 海外実習時における注意事項 10
(2) プログラムの中止や内容の変更 10
(3) プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退について 10
13. その他 11
(1)個人情報の取扱いについて 11
(2)姿勢 11
(3)履修計画について 11
14. 問合せ先 11
ANNEX : KHU Course List
Off-campus Study Program(交換留学・ダブルディグリープログラム・EXPLORE・APUグローバルリサーチプログラムを除く)に参加するにあたっての遵守事項

1. プログラム概要

(1) 概要:

本ダブルディグリープログラムは、APU と韓国の慶熙大学(Kyung Hee University:以下、KHU)の学生が、所属大学の 2 年間と相手大学での 2 年間の留学をあわせて、合計 4 年間の学修を行い、両大学の学位取得が可能となるプログラムです。

年度	回生	セメスター	在籍大学	APU での学籍状態
2020 年度	1	1 セメスター	APU	通常
		2 セメスター		通常
2021 年度	2	3 セメスター	KHU	留学
		4 セメスター		留学
2022 年度	3	5 セメスター	KHU	留学
		6 セメスター		留学
2023 年度	4	7 セメスター	APU	通常
		8 セメスター		通常

(2) KHU での所属学部:

学部: College of International Studies

(3) 派遣期間:

2021 年 2 月～2023 年 2 月

(4) 採用人数:

最大 3 名

(5) 学籍上の取り扱い:

- 留学中は、学籍状態が「通常」から「留学」に変更されます。
- 学籍が「留学」であるセメスターに APU で開講する科目を履修することはできません。

(6) 取得可能な学位:

- APU:学士(アジア太平洋学) Bachelor of Social Science
- KHU:学士(国際学) Bachelor of International Studies

(7) 卒業時期に関する注意点

APU の卒業は 2024 年 3 月ですが、KHU の卒業は 2023 年 8 月となります。

2. 申請および選考について

(1) 申請条件

No.	条件	詳細
1	2020 年春セメスターに入学し、アジア太平洋学部(APS)に在学する第 1 セメスターの者	• このプログラムは 2～3 回生を韓国で学修するため、現在 1 セメスター目の学生しか応募できません。 • 受入大学の専攻分野の関係上、アジア太平洋学部生のみが対象です。 • 韓国国籍の学生は、本プログラムには応募できません。
2	言語基準を満たす者	• 申請時にいずれかのスコアを有する者 ➢ TOEFL® PBT(ITP):515 点以上 ➢ TOEFL® iBT:67 点以上 ➢ IELTS™:5.5 以上 • 派遣条件は、5 ページを確認してください。
3	APU の学修分野において、「国際関係(IRP)」を希望している者	● KHU で留学中に提供される科目は、国際関係分野が中心になります。その為、APU の学修分野において、国際関係(IRP)を希望する学生の参加を推奨します。
4	2020 年度春セメスターの履修登録単位数が 14 単位以上の者	
5	言語科目について: ● 日本語基準の場合:第 1 セメスター終了時に「英語中級」を全て修得見込、もしくは履修を免除された者 ● 英語基準学生の場合:第 1 セメスター終了時に「日本語初級」を全て修得見込、もしくは履修を免除された者	
6	韓国語を学習する意志のある者	
7	2020 年度秋セメスターに、大学が指定する科目を履修する意思のある者	履修指定科目 ※英語開講科目の履修が望ましい ・国際関係論入門 ・政治学入門 ・地域研究入門 ・アジア太平洋の歴史 ・統計学 ・経済学入門 ・韓国語 I (既に修得済の科目は除く)

(2) 申請方法

ダブルディグリープログラムの申請は以下のステップが必要です。注意事項をよく読み、オンラインで申請を行ってください。全ての Step を完了しない場合は、申請不備となり選考を行いません。

Step 1: オンライン申請の準備

オンライン申請の最後に①英語スコアのコピー②証明写真(データ)③経費支弁書(PDF,JPEG など)をアップロードする必要がありますので、それらを事前に準備してください。

① 英語スコアのコピー

- スキャンしたデータ、あるいは写真のデータ(PDF,JPG など)をご準備ください。
- 内定後、スコアのコピーを提出する必要があります。
- 英語が母語でない英語基準の学生はスコアの提出が必要です。
- 申請締切日時点では期限切れのスコアでも申請は可能ですが、内定した場合、9 月 30 日(水)の最終選考結果発表前までには有効なスコアを提出する必要があります。
- アドミッションズ・オフィスでは、入学試験時に提出されたスコアの返却は行いません。
- ファイル名は例に従い、「Score_学籍番号_氏名(アルファベット)」としてください。
  例) Score_11111111_RITSUMEIHanako.pdf

② 証明写真(データ)

- オンライン申請の最後に自分の顔写真をアップロードする必要があります。
- 正面を向き、帽子、マスク、サングラスなどは着用していない写真データを準備してください。
- 過去 6 ヶ月以内に撮影されたものが望ましいです。
- 写真のファイル名は例に従い、「Photo_学籍番号_氏名(アルファベット).jpg」としてください。
  例) Photo_11111111_RITSUMEIHanako.jpg

③ 経費支弁書 (PDF、JPEG など)

- 以下のウェブサイトより経費支弁書をダウンロードし、経費支弁者および申請者自身の直筆署名したものをデータ化(PDF,JPG など)し、オンライン申請時にアップロードしてください。
  http://en.apu.ac.jp/academic/page/content0298.html/?c=17
- ファイル名は例に従い、「Financial_Support_学籍番号_氏名(アルファベット)」としてください。例)
  Financial_Support_11111111_RITSUMEI_Hanako.pdf

Step 2 : オンライン申請(Lime Survey)

以下のアカデミック・オフィスウェブサイトに掲載されている申し込みフォームより申請してください。

https://survey2.apu.ac.jp/limesurvey/index.php/794677?lang=ja (申請期間のみ申請ができます。)

オンライン申請時の注意事項:

- 回答する際の言語について、指示がある場合は従ってください。
- オンライン申請完了後は“Print your answers”をクリックし、申請内容を印刷または PDF で保存し、保管しておいてください。ご自身の申請内容に関して疑義がある際は、必ず上記の申請内容をメールに添付して送ってください。それがない場合には、疑義を受けつけません。
- 複数回入力を行った場合は、入力日が新しいもののみを受け付けます。

- 申請に当たっては、KHU でどのような学修をしたいか、将来の目標は何か、このプログラムに参加する意義は何か、これからどんな準備をするか、などをよく考えて申請してください。

(3) 選考について

① 選考方法

選考は、申請書類、学修計画、語学運用能力成績、面接、学業成績などの結果に基づいて、総合的に判断します。

② 選考基準

出願時に提出するエッセイ

- 本プログラムへの参加目的が明確であるか。

語学運用能力

- 外国の大学で勉強生活を送るにふさわしい英語運用能力を有していること。
- 学内選考の際、申請時の言語条件を満たしていること。

面接(書類選考を通過した者のみ)

- 目的意識、留学計画、学修計画が明確であること。
- 派遣国社会に溶け込むのに必要な適応性があり、自らの力で留学生活における困難を乗り越える力と、それに対する心構えを有していること。
- 十分な言語運用能力を保持していること。

(4) 最終選考結果発表

最終選考結果発表は 2020 年 9 月 30 日(水)に行います。この時点で以下の基準を全て満たす必要があります。

学業成績(GPA)

- ✓ 2020 年度春セメスターの当該 GPA が 2.80 以上であること。
- ✓ 2020 年度春セメスターの修得単位数が 14 単位以上であること。
- ✓ 2020 年度春セメスター終了時に日本語基準学生は英語中級を、英語基準学生は日本語初級を修得済み、もしくは免除されていること。

語学能力

- ✓ TOEFL PBT(もしくは ITP)530 点以上、TOEFL iBT71 点以上、IELTS 5.5 以上であること。
- ✓ 申請時と最終選考結果発表時に必要なスコアが異なります。最終選考結果発表までに上記の点数を満たしたスコアのコピーを提出する必要があります。

注意事項

- 2020 年 9 月 30 日(水)に上記の基準に満たない場合、派遣内定が取消となります。派遣内定後もしっかりと学習に取り組んでください。
- 原則として派遣が決定した場合は、プログラムの辞退はできません。

3. 内定後の手続きについて

内定後、以下の申請書類を準備する必要があります。

① 留学申請として KHU に提出

- KHU へのオンライン申請（KHU より指示があります。）
- 高校の成績証明書（高校に在籍していた期間の成績で英語表記されたもの）
- 2020 年度春セメスターの成績証明書（9 月下旬より発行）
- パスポートコピー

② ビザ取得関係書類

- パスポート（留学期間に加えて 6 ヶ月以上の残存有効期間が必要）
- 銀行残高証明書 2 通 （英語表記、6 ヶ月分の残高証明書）
- ビザ取得に必要な書類は、各自で韓国大使館のウェブサイト等で確認し準備をすること。

③ APU への書類提出

- 誓約書
- 留学願

④ 留学のための保険手続き

個人で既に加入している場合も、APU 及び派遣先大学が指定する海外旅行保険と JCSOS 危機管理システム（J-TAS）への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、内定者ガイダンスで説明します。

⑤ 予防接種

ガイダンスにて別途説明します。

⑥ Campusmate で学修分野「国際関係（IRP）」の登録

2020 年度秋セメスター履修登録A期間で登録をしておくこと。

4. 留学前の APU での履修と自主学習について

（1） 2020 年度秋セメスターの APU での履修について

2020 年度秋セメスターに、APU が指定する以下の履修科目を履修することを強く推奨します。

- 国際関係論入門
- 政治学入門
- 地域研究入門
- アジア太平洋の歴史
- 統計学
- 経済学入門
- 韓国語 I

✓ これらの履修は、履修登録上限単位数内に含まれます。既に 2020 年度春セメスターで修得した科目については、再履修する必要はありません。

✓ 科目によっては、2020 年度秋セメスターに開講されない場合があります。

（2） 自主学習について

KHU での授業は全て英語で実施されるため、学習面において韓国語の言語能力は問われません。しかし事前に日常会話レベルの学習を進めておく必要があります。

5. 単位認定および留学中・帰国後の履修について

（1） 単位認定について

- 派遣先での単位は、在学中のすべての単位認定を含め、APU の各セメスターの履修登録上限単位数に関わらず、60 単位を上限として認定を行います。
- 単位認定は、留学先の正規課程において修得した科目のうち、本人からの申請に基づき、教学部ならびにアジア太平洋学部で審査の上、行います。
- APU の開講科目と全く関連性の無いもの（体育、芸術等）の単位認定は、原則として行いません。
- 単位認定の結果、留学先での単位がAPU設置科目に認定された場合、それ以後、APU にてその科目を履修登録することはできません。また、その科目をすでに APU で修得済の場合は、単位認定をすることはできません。
- 認定された単位は、成績評価欄に[T]として記載されます。
- このプログラムに応募する際は、申請時の履修状況と照らし合わせながら、派遣先大学での履修科目や、帰国後の本学での単位認定と卒業及び進路について十分な計画を立てる必要があります。詳細は内定者ガイダンスで説明します。

（2） 留学中と帰国後の履修について

留学中を含む、本学での履修計画は、各自の卒業時期に関わる重要事項です。履修計画によっては、4 年間で卒業ができなくなる場合があります。必ず各自の履修状況と APS のカリキュラムを確認し、しっかりと計画を立てて留学に臨んでください。

（3） APS 学修分野について

留学先では国際関係分野の学びが中心となりますので、最終選考結果発表後、「国際関係」を自身の学修分野として登録してください。また、必修科目である「国際関係論入門」を、出発前までに履修することを強く推奨します。

（4） 言語教育科目の履修免除について（英語科目/日本語科目/AP 言語科目）

大学が指定する条件を満たした場合、事前の申請により、APU に戻って履修を再開するセメスターの言語教育科目（英語、日本語、AP 言語）を履修免除することができます。詳細は APU 学部履修ハンドブックを確認してください。
言語教育科目(必修)の履修免除に関するお問い合わせ： cleac@apu.ac.jp

6. 学位取得のための要件

4 年間で 2 つの大学を卒業するには、定められた科目ならびに単位数を KHU 及びAPUにて修得する必要があります。KHU 在籍中は、KHU のアカデミック・アドバイザーと相談しながら、履修を進めることとなります。また、次の表の通り、KHU、APU で一定の単位数を修得するため、計画的な履修を行う必要があります。

(1) 単位修得モデル

<table>
<tr><th>学年</th><th>セメスター</th><th>受講大学</th><th>KHU 取得
単位数</th><th>履修必須単位数内訳</th><th>APU で修得
する単位</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>1</td><td>APU</td><td rowspan="2">36 単位</td><td rowspan="2">APU で修得した単位を KHU で単位認定</td><td rowspan="2">36 単位</td></tr>
<tr><td>2</td><td>APU</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>3</td><td>KHU</td><td rowspan="4">60 単位</td><td rowspan="4">各セメスター約 15 単位を修得
KHU で修得した単位を APU で単位認定</td><td rowspan="4">60 単位
（最大）</td></tr>
<tr><td>4</td><td>KHU</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>5</td><td>KHU</td></tr>
<tr><td>6</td><td>KHU</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4</td><td>7</td><td>APU</td><td rowspan="2">24 単位</td><td rowspan="2">APU で修得した単位を KHU で単位認定</td><td rowspan="2">28 単位</td></tr>
<tr><td>8</td><td>APU</td></tr>
<tr><td colspan="3">総 KHU 単位数:</td><td>120 単位</td><td></td><td>124 単位</td></tr>
</table>

(2) KHUプログラム修了のための要件

KHU 卒業に必要な単位数は 120 単位です。以下の表のカテゴリーから必要な単位数を修得する必要があります。

1. Common Liberal Arts	(35 credits)
A. Common Liberal Arts	35 credits
2. College Major	(57 credits)
B. Basic Majors	12 credits
C. Required Majors	6 credits
D. Elective Majors	39 credits
3. General Elective	(28 credits)
E. General Elective	28 credits
Total	120 credits

●KHU の学位を取得するためには KHU の卒業テストを受ける必要があります。

＊ Common Liberal Arts は科目別に単位認定されずに、総修得単数が一括で認定されます
＊ APU で修得した最大 22 単位を、KHU の College Major (Basic Majors, Required Majors, Elective Majors)の卒業に必要な科目として単位認定することができます。
＊ APU から KHU への単位認定は、他大学で取得した単位も含めて 60 単位が上限です。
＊ Common Liberal Arts にも College Major にも認定されなかった、APU で修得した残りの単位は General Elective として認定されます。
＊ KHUのカリキュラム改革などのため、卒業要件が変更になる場合があります。

(3) KHU 科目リスト巻末「ANNEX : KHU Course List」を参照してください。

7. 現在受給中の奨学金の留学期間中における取扱いについて

現在授業料減免を受けている学生も、留学中は減免を受け続ける事が可能です。ただし、留学中にも継続審査があります。詳細はスチューデント・オフィスに確認をしてください。

8. 留学にかかる費用について

留学中には、以下のような費用がかかります。

1) 授業料	2) 寮費*1	3) 保険料*2	4) その他
APU に納入	KHU に納入	APU と KHU 双方に納入	留学費用の目安:約 100 万円 (渡航費、食費、書籍代、パスポート、ビザ申請料、娯楽費、その他個人的活動に関わる費用等)

*1 入居状況により必ずしも入寮できるとは限りません。寮費は 1 セメスターで概ね 10 ～ 12 万円です。寮費は年度によって金額が変わることがあります。

*2 APU 指定の海外旅行傷害保険(2 年間で約 23 万円)、危機管理支援システム(2 年間で約 5 万円)への加入が義務付けられています。これらは、出発前に一括で支払う必要があります。また KHU 指定の保険に加入する必要があります。

9. 合格後のプログラム参加の取り消しについて

以下のいずれかに該当する場合、プログラム参加の取り消し、もしくは派遣中止・中断となる場合があります。

(1) 第2セメスターにおいて通算 GPA が 2.80 を下回った場合、もしくは総修得単位数が 32 単位に満たない場合

(2) 2020 年 9 月 30 日(水)までに言語要件(TOEFL PBT(もしくは ITP)530 点以上 TOEFL iBT 71 点以上・IELTS 5.5 以上)を満たさなかった場合

(3) 指定の海外旅行障害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、もしくは必要なガイダンスに参加しないなど、大学の指示に従わない場合

(4) 派遣地域の安全上の問題により、大学が派遣中止決定をした場合

(5) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合

(6) 不正行為を行った場合

(7) その他、学生としての本分に反した場合

(8) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合

10. 合格後のプログラムの中止・中断について

以下のいずれかに該当する場合、派遣中止・中断となる場合があります。

(1) APU もしくは KHU での成績不振により 4 年間でのプログラム修了ができないと判断される場合
(2) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報又は感染危険情報がレベル 2 以上である場合。
(3) 社会情勢を鑑みプログラムを安全に実施できないと考えられる場合
中止判断に当たり、留意されることは、天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロの他、航空便の運航状況や現地医療状況等が想定されます。
(4) 派遣先大学が APU からの学生受入中止を判断した場合
(5) 派遣先大学の事情などにより APU がプログラムの中止が適当と判断した場合
(6) KHU への留学中に連続した 3 セメスターでセメスターGPA が 1.70 を下回る場合
(7) KHU 留学中に 1 セメスターの取得単位が 9 単位を下回る場合

11. APU への授業料支払いについて

留学中は、原則、海外で学費支払手続ができません。申請者自身で学費の納付を行っている場合は、留学期間中に納付が必要な学費全額を出発前までに申請者自身のゆうちょ口座へ入金する必要があります。2 年間分の多額の学費の入金が必要なため、申請前に経費負担についてよく確認をしてください。納付書を使って学費の支払いを行っている人は、派遣内定後に自動引き落としの学費納付手続きをしてください。

なお個別に学費の確認を希望する場合は、内定後アドミニストレーション・オフィスへお問合せください。また学費納付方法について問題がある方は、内定後（あるいは申請前でも）、アカデミック・オフィスの担当者に別途相談をしてください。

12. 免責事項・注意事項

(1) 海外実習時における注意事項

本プログラムの実習期間中に、プログラムの当事者（APU、派遣先大学、現地機関）以外の第三者（組織、個人）による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟、それに関わる対応等の責任を負わなければなりません。プログラムの当事者（APU、派遣先大学、現地機関）はその責任を負いません。

(2) プログラムの中止や内容の変更

① 参加者の健康や安全を第一優先するため、実習先で天災・災害・ストライキ・伝染病・政治情勢の変化・戦争・テロ、不可抗力に起因する事態が発生した場合やその他の事情等によりプログラムの中止や内容の変更を行う場合があります。プログラムの中止や内容が変更になる可能性も念頭においた上で、無理のない履修計画を行ってください。なお、プログラムが中止となった場合は、留学時期の振替は行いません。
② 派遣中であっても「9. 合格後のプログラム参加の取り消しについて」、「10 .合格後のプログラムの中止・中断について」に該当する事項は発覚・発生した場合には、派遣の中断および速やかな帰国を求める場合があります。

(3) プログラム参加決定後（合格発表後）の辞退について

大学は皆さんがプログラム申請をした時点で参加の意思があるものとして選考を行います。従って、プログラム参加決定後(合格発表後)の辞退は認められません。申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することがないよう準備を行ってください。

13. その他

(1)個人情報の取扱いについて

プログラム参加に関わる調整・手続きを進める上で、第三者(APU 教職員、APU ヘルスクリニック、派遣先大学・機関、旅行代理店、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、日本および参加学生の母国、ならびに派遣国の大使館、領事館、外務省等)に対して個人情報を提供することがあります。提供する情報には、氏名、性別、国籍、E メールアドレス、生年月日、パスポート番号、健康に関わる情報があります。

(2)姿勢

プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかり定めてください。なお、派遣前に行うガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類の提出期日は必ず守ってください。また、プログラム参加中は大学が定めたルールを守らなければなりません。大学が定めたルールとは、別途「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」の他、飲酒、自動車・バイク運転、レジャースポーツの禁止があります。

(3)履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。プログラム合格後に問題が判明した場合も、履修の特別配慮等はありません。自己の責任において、プログラムへの応募を行ってください。

14. 問合せ先

アカデミック・オフィス／KHU ダブルディグリープログラム担当　河野・小野
Email: dudp@aup.ac.jp/TEL:0977-78-1101

以上

ANNEX : KHU Course List

<table>
<tr><td>Basics Courses</td><td colspan="2">Introduction to International Relations
Introduction to Political Science</td><td>Introduction to Economics I
Introduction to Economics II</td></tr>
<tr><td>Required Majors</td><td colspan="2">Major Issues in International Studies</td><td>Statistics for Social Science</td></tr>
<tr><td rowspan="3">Elective Majors</td><td>International Relations</td><td colspan="2">Contemporary Theories of International Relations (shared with IDC Track)
Culture and International Relations (shared with IR Track)
Global Finance and International Politics (shared with GB, IDC Track)
History of International Relations
International Conflict and Resolution
International Economic Laws and Institutions (shared with IE, IDC Track)
International Negotiations (shared with IDC Track)
International Organization (shared with IDC Track)
International Political Economy
International Security
International Terrorism
Law & Global Governance
Making of International Law in Korea
Major Issues in Global Affairs
NGOs and Global Governance (shared with IDC Track)
Public Diplomacy and Practices
Readings for International Studies
Topics in International Relations Ⅰ (H)
Understanding Foreign Policy
Understanding International Law</td></tr>
<tr><td>East Asian Studies</td><td colspan="2">American Foreign Policy (shared with IR Track)
American Politics and Economy
Chinese Foreign Policy (shared with IR Track)
Chinese Politics and Economy
Comparative Area Studies (shared with IDC Track)
Comparative Political Economy (shared with IDC Track)
Culture and Society of Korea
East Asian Economic Development (shared with IE Track)
East Asian International Relations (shared with IR Track)
Human Rights in East Asia (shared with IR Track)
Japanese Foreign Policy (shared with IR Track)
Japanese Politics and Economy
Korean Economy and Development (shared with IE, IDC Track)
Korean Foreign Policy (shared with IR Track)
Korean Politics and Economy (shared with IR Track)
Major Issues in Korean Politics and Society
Modern History of East Asia
North Korea and Inter-Korean Relations (shared with IR Track)
Russian Politics and Economy (shared with IR Track)
State and Society in East Asia
Topics in East Asian Studies Ⅰ (H)
Topics in Korean Studies
Understanding East Asian Culture</td></tr>
<tr><td>International Economy</td><td colspan="2">Blockchain and Cryptocurrency (shared with GB Track)
Econometrics (shared with IDC Track)
Economic Development (shared with IDC Track)</td></tr>
</table>

Elective Majors	International Economy	Global Data Analysis for Economics and Business Ⅰ (shared with GB, IDC Track) Global Data Analysis for Economics and Business Ⅱ (shared with GB, IDC Track) Industrial Organization (shared with IDC Track) International Finance (shared with IDC Track) International Monetary Economics (shared with GB Track) International Trade Macroeconomics Mathematics for Economics and Business (shared with GB Track) Microeconomics Statistics for Social Science (shared with IR, EA, GB Track) Theories of Economic Growth (shared with IDC Track) Topics in International Economy (shared with IR Track) Topics in Macroeconomics (H) Topics in Microeconomics (H)
	Global Business	Advertising Business Finance Business Principles and Practices Consumer Behavior Entrepreneurship Financial Accounting Financial Statement Analysis Global Marketing (shared with IDC Track) Human Resource Management and Development International Business International Financial Strategy Investment Analysis Organizational Behavior Principles of Accounting Principles of Marketing Topics in Finance (H) Topics in Marketing (H) Understanding Korean Business Venture Capital and the Finance of Innovation (shared with IDC Track)
	International Development Cooperation	<Courses offered by IDC Track> Economics of Poverty Introduction to Project Management Monitoring and Evaluation for Development Project Theory and Practice in International Development Cooperation Topics in International Development Cooperation (H) Understanding International Development Cooperation Understanding Socio-Economic Development in Africa Understanding Socio-Economic Development in Asia Understanding Socio-Economic Development in Latin America <Shared with other tracks> Comparative Area Studies Comparative Political Economy Contemporary Theories of International Relations Culture and International Relations Economic Development Global Data Analysis for Economics and Business Ⅰ Global Data Analysis for Economics and Business Ⅱ Global Finance and International Politics

Elective Majors		Global Marketing
	International Development Cooperation	Industrial Organization International Finance International Negotiations International Organization Korean Economy and Development NGOs and Global Governance Venture Capital and the Finance of Innovation 〈Courses offered by GSP〉 Aid and Development Development and Social Policy in Developing Countries Project Cycle Management MDB Project Analysis Understanding Sustainable Development Strategies of Development Cooperation Practicum in Development Project Economics of Development PPP&CSR Monitoring and Evaluation Consulting Skills 1, 2, 3 ※ Students can take up to 6 credits offered by GSP
Common Elective Majors		Capstone Design for International Studies Independent Study for International Studies Introduction to Social Science Research Special Topics in International Studies

2020 年度　立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program　　本人保

Off-campus Study Program(交換留学・ダブルディグリープログラム・EXPLORE・APU グローバルリサーチプログラムを除く)に参加するにあたっての遵守事項

1．基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program（以下「プログラム」という。）に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない

（1）　プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。

（2）　立命館アジア太平洋大学（以下「本学」という。）の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関（以下「派遣先」という。）の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。

（3）　プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。

（4）　遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

2．健康管理等

（1）　健康管理は、自らの責任で行うこと。

（2）　渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム（J-TAS）等へ加入すること。（海外プログラムのみ）

（3）　既往症等ある場合は、申し出ること。

（4）　「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。

（5）　傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。

（6）　緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。

（7）　本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

3．経費および補償

（1）プログラムに要する費用（実習費・宿泊費・交通費・保険料等）は、指定の期日までに納入すること。

（2）募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費(派遣先から本学に請求された必要経費を含む)を負担すること。

（3）天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3．（2）と同様の費用を負担すること。

（4）本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。

（5）本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。

（6）故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。

（7）プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。

本学、派遣先はその責任を負わない。

4. 入国・帰国 （海外で実施されるプログラムのみ）

（1） プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。

（2） プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。

（3） （1）および（2）の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラム(海外交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマープログラムおよび短期ウィンタープログラムを含む)においては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、出国日および帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。